

つながる「税金」

十文字中学校 新井 遥

夏休みのお盆前、台風十号の影響か早朝から黒い雲があっという間に広がってきて雷が鳴り、激しい雨が降りました。あまりの音にいつもより早く目が覚めてしまいました。家の後ろの用水路を見ると今にもあふれそうなほど増水してとても怖く、不安な気持ちでいっぱいでした。消防車の音が何度も鳴っていました。年々、異常気象で災害が増える中、防災がしっかりしているので安心して暮らせるんだなど実感します。

私は今まで税に関して興味がなく消費税がこれから十%に増税するんだということぐらいしか知りませんでした。日本では無料で救急車を呼ぶことができるのに外国では有料の国もあるそうです。国によっては数千円から数万円もかかってしまいます。日本は税金でまかっています。今ちょっとした事でもすぐ救急車を呼んでしまうことが問題となっています。無料だからといって使ったあたり前ではなく税金が使われていることを忘れてはいけないと思います。調べれば調べるほど自分が知らなかった税金や必要性が分かってきて少しずつ興味が増えてきました。

数か月前にふるさと納税についてのニュースを見ました。そこで、ふるさと納税について調べてみると、おいしそうなお肉や果物の写真がすぐ目に飛び込んできました。お礼の品が地域とは関係なく高額になっているということが問題になったニュースでしたがふるさと納税はすごくいいシステムだなと思います。いろいろな人から寄付を受けられる自治体と楽しみながら寄付金から税の控除が受けられる側がいて両方にメリットがあって、こういうのもあるんだと感心しました。私だったらやっぱり自分の故郷や災害にあった地域のために活用したいなと思います。東日本大震災や熊本地震を思うと数年経っている今も復興の途中でテレビで見ると何かしてあげたい、力になりたいと思いました。

こうして税によって私達の生活が成り立っていることが分かります。道路を補修したり除雪したり学校で私たちが教育を受けられること、そして病院で医療を安心して受けられるなど税金は無くしてはならないものだと感じかされました。始めは、まだ中学生だから関係ないと思っていました。この作文を書くことで税金への理解が深まったように思えます。私たちが大人になった時、納める税金が自分たちの暮らしを支え、また誰かの支えになる大切なものです。「税金」は難しいイメージだけど支え合っていると思うと日本中の人とつながっている気がしました。